

令和8年度施策評価シート（評価対象年度：令和7年度）

基本政策 【分野】	子どもを産み育てやすく豊かな学びで未来を 拓くまちづくり 【子育て・教育分野】	施策	13_若者・青少年	所管部長 取りまとめ所属	こどもみらい部長 こども若者支援課		
施策の内容	子ども・若者の自立や、健全な成長を促すため、地域における体験学習や地域活動の機会を提供するとともに、複雑・深刻化する悩みや問題を解決するための相談体制の充実を図ります。						
めざす姿	子ども・若者が地域の人々と交流し、悩みを抱え込むことなく、健やかに成長しています。						
重点事業	若者のひきこもり支援事業						
施策構成事業	子ども・若者健全育成支援事業費	子ども・若者体験活動事業費	子ども・若者相談事業費				
評価							
進捗評価	概ね順調	評価の 判断理由	重点事業「ひきこもり支援事業」や、その他の施策構成事業は計画どおり実施し、多様な子どもの居場所を確保できました。 成果指標「子どもの延べ参加人数」は、コロナ禍で縮小していた事業の再開に応じた参加需要の回復等を見越していたものの、放課後子ども教室の参加者数の伸び悩みや市民団体の解散等により、昨年度より減少していますが、施策全体として概ね順調と判断します。				
施策推進上の課題・ 環境変化	少子化による子どもの減少、AIの急速な普及やSNSなどによるコミュニケーション形態の変化等、子ども・若者をとりまく環境は、より多様化・複雑化しています。また、高齢化や夫婦共働きの家庭が増えたことなどから、青少年指導員や子ども会育成会役員の担い手不足が生じ、地域で子育てをする環境が弱まりつつあります。 こうした中であっても、関係団体などとの協働や支援を効果的・効率的に実施するとともに、指導者育成支援などを行うことで、持続可能な体制の構築を図る必要があります。						
評価の経過	令和5年度 概ね順調	令和6年度 順調	令和7年度 概ね順調	令和8年度	令和9年度		
施策推進の方向性							
方向性	継続						
総評・今後の施策 推進方針	子ども・若者の健全な成長には、さまざまな体験活動が不可欠です。青少年指導員や子ども会育成会など、青少年育成団体による地域での取組は、子どもたちが地域で育つ上での重要な要素であり、引き続き支援していく必要があります。 一方で、子どもたちの居場所は多様化が進んでいます。こども家庭庁のこども大綱(R5.12月閣議決定)において、多様な「こどもの居場所」の確保についての必要性が示されており、当事者であるこども・若者の意見を聞きながら、行政、民間、地域、家庭が連携を図って、居場所づくりを進めていく必要があります。						
成果指標							
成果指標名	現状値	R 5 実績値	R 6 実績値	R 7 実績値	R 8 実績値	R 9 実績値	R 9 目標値(方向性)
指標の定義							
地域住民との交流体験活動に参加した子どもの延べ人数 放課後子ども教室や子ども・若者が体験活動に参加し、地域住民と交流を行った子どもの延べ人数	3,961人 (R3)	6,928人	8,999人	8,631人			12,000人
子ども・若者が生き生きとして いると感じられる市民の割合 市民意識調査で「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の割合	38.5% (R4)	40.3%	40.3%	44.4%			↗
重点事業の取組内容							
事業名	若者のひきこもり支援事業						
事業内容	若者のひきこもりに対応するため、R6年度に行った支援ニーズ等の調査結果を基に、ひきこもりに特化した支援体制の構築を図り、取組を推進します。						
取組工程	項 目	令和7年度					
		計画			実績		
	若者のひきこもり相談の実施	実施(本人と保護者の居場所や相談の場を開催)			実施(本人と保護者の居場所や相談の場を開催)		
	若者のひきこもり支援体制の構築と支援策の実施	調査結果に基づく支援策の検討と体制づくり			調査結果に基づく支援策の検討と体制づくり		
	子ども・若者計画（こども計画）の策定	運用			運用		

令和7年度 取組内容	●おおむね30歳までのひきこもり・不登校当事者を対象とした居場所「アオハルルーム」及び保護者を対象とした「午後カフェ」について、月1回の頻度で継続的に実施しました。 ●若者や保護者からの電話や対面での相談に適宜応じるとともに、若者のひきこもり支援に向け、関係機関との連携を図りました。 ●調査結果に基づき、HPの更新による事業周知の強化を行うとともに、ひきこもりに悩む人に社会参加へのきっかけとして、ボランティア体験に協力してくれる関係機関との連携体制を構築しました。
重点事業以外の取組内容	
令和7年度 主な取組内容	青少年育成団体の活動の推進及び組織育成に努めるとともに、年度内に20歳を迎える若者で実行委員会を組織し「はたちのつどい」を開催しました。また、市内10小学校で地域住民の参画を得ながら「放課後子ども教室」を運営し、子どもたちに様々な体験活動等の機会を提供しました。